

□ アナリスト週間相場予想

	金 Gold	白金 Platinum
江崎		
西		

Pick up News

〔注目スケジュール〕

- 7/11 米商品先物取引委員会 (CFTC) 建玉明細
- 15 米小売売上高、NY連銀製造業景気指数
- 16 米消費者物価指数、米鉱工業生産指数
- 17 米新規失業保険申請件数、米住宅着工許可件数
欧州中央銀行 (ECB) 理事会
- 18 CFTC建玉明細

□ テクニカル分析 (担当: 西 勝之)



チャートは東京金先限日足である。適度に押しをいれながら堅調に推移しているがそろそろ当面の上値目標3300円強(2/27高値)近辺まで上伸してきている。勿論来週の焦点となる値段はこの3322円であるが現状は14日RSIが74.9と高水準となっており、もしこのレジスタンスに跳ね返されて下落するようであれば調整トレンドに入る可能性が高い。逆に3200円台で揉みあいも含めて日柄でもってRSIを調整するか、一気に3322円のレジスタンスをブレイクアップするようであれば黙って”トレンドは継続する”の原則に従う他ないであろう。現状は一旦買い玉を降りて仕掛けのチャンス(3322円を2日連続上回って引ければ買い、3300円を示現した後下降すれば売り)を伺うべきであると感じる。白金は下降バンドウォークを一旦失敗し戻している。しかしながらボリンジャー中心線で20日移動平均値でもある6913円を現在は回復できていない。この値段を基準に、回復した場合は売り玉は一旦撤退。回復できずに2・3日揉むようであれば売り方針のまま臨みたい。(7/11 14:55現在)

□ ファンダメンタル分析 (担当: 江崎 和弘)

貴金属相場の注目は米金融機関の決算となりそう。17日にはメリルリンチ、18日にシティグループとワコビア、続いて21日にバンカメ、22日にJPモルガンが予定されている。いずれも市場予想そのものが低くなっているために影響は小さいかも知れないが、警戒要因として燻り続けることが考えられる。信用不安が続けば、それは金を中心に素直に買い材料と見て差し支えないだろう。為替市場では当然のようにドル安が警戒されてくるものと思われる。なお、17日には欧州中央銀行(ECB)理事会が控えているが、ECBは利上げを実施したばかりであり、今後の金融政策に対する見通しもここでは揺るがないものと判断、材料性は薄いと見る。

金相場はこのところ調整含みで推移していたが、イランの連日のミサイル試射をきっかけとした地政学的リスク浮上もあって、相場は再度上放れた。今後の為替や株式動向からの支援見通しに加え、原油相場が息を吹き返したことも先高観を煽りそうだ。特にファニーメイやフレディマックに関し債務超過説が流されており、リーマン・ブラザーズの経営も揺るいだままで何かと噂が絶えない。FRBの舵取りが一つ間違えば、事態は急変しかねない状況だ。

一方の白金であるが、こちらは自動車触媒需要の減少が懸念されて一足先に調整入りしていたとあって、本日はショートカバーから急騰に転じた。金に比べれば見劣りする環境には変わらないが、これで目先の下値を確認したとして、戻り売り基調から押し目買い基調へと変わる公算が大きい。銀・パラジウムも含めて、貴金属相場は総じて強含みで推移するものと考えておいて良いだろう。

◆ 添付されている『取引の重要事項』をかならずご確認ください。

▼商品先物取引のリスクについて

商品先物取引は、相場の変動により利益も損失も生ずるおそれのある取引です。また、取引本証拠金の額に比べて約15倍から約40倍という著しく大きな金額の取引を行うため、預託した取引証拠金の額を上回る損失が発生することがあります。

▼取引証拠金とレバレッジについて

商品先物取引は委託に際して取引証拠金の預託が必要となります。お取引を始める際に預託する取引本証拠金の額は商品により異なり、最低取引単位(1枚)あたり13,000円から210,000円でお取引いただけます。但し、実際の取引金額は取引本証拠金の額の約15倍から約40倍という著しく大きな額になります。また取引証拠金等は、その後の相場の変動によって追加の預託が必要になることがありますので注意が必要です。またその額は、商品や相場の変動によって異なり、一様ではありません。
※上記取引証拠金は2008年7月1日現在の金額です。

▼取引手数料について

商品先物取引の委託には委託手数料がかかります。その額は商品によって異なりますが、最低取引単位(1枚)あたり1,154円(往復)から18,270円(往復)となります。
※上記委託手数料は2008年7月1日現在の金額です。

▼自己判断

この資料は投資の参考となる情報提供を目的とするものです。投資の決定はご自身の責任と判断でなされますようお願い申し上げます。

※エイチ・エス・フューチャーズは日本商品先物取引協会に加入しております。
※当社の企業情報に関するディスクロージャー資料は当社(本社・支店及びホームページ)又は、日本商品先物取引協会(本部・支部及びホームページ)で閲覧できます。

※お取引に関する苦情・ご相談は、下記の窓口にて承っております。

エイチ・エス・フューチャーズ 苦情相談センター

TEL: 0120-50-4288

東京都新宿区西新宿5丁目3番2号

日本商品先物取引協会 相談センター

[本部]

TEL: 03-3664-6243 東京都中央区日本橋小網町9番4号 日商協ビルディング3階

[中部支部]

TEL: 052-220-1652 愛知県名古屋市中区丸の内1-16-2 中部大阪商品取引所2階

[関西支部]

TEL: 06-6543-8502 大阪府大阪市西区阿波座1-10-14 関西商取ビル4階

商品取引員 エイチ・エス・フューチャーズ株式会社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿5丁目3番2号 TEL: 03-3299-0301(代表)